

<第3回 川内地区・平佐西地区の浸水被害に関する検討会>

防災力向上のための今後の取り組み (ソフト対策)

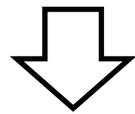
令和3年12月26日

防災力向上のための今後の取り組み(ソフト対策)

<これまでに住民説明会や検討会で頂いたご意見>

住民に対する情報提供	<ul style="list-style-type: none">○機器故障や冠水などの非常時に住民への情報提供をしてほしい○大雨の場合や春田川の水がどの程度まできた場合に、近くの住民にどういう形で周知し、避難体制を作っていくのか検討してほしい○防災無線やLINE(ライン)等で情報提供が行われているが、メディア等と連携をとりながら、テレビでも情報提供してほしい
地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none">○市・県・国において今回の災害を教訓にして提案があったハード面、ソフト面含めて両輪で薩摩川内市の地域防災力を高めるために、地区のコミュニティ協議会の皆様とも連携して進めてほしい

また、近年は洪水が頻発化・激甚化していることをふまえ、今後、施設能力を上回る大雨等も想定ことから、春田川の氾濫や春田川に流入する排水路の排水不良等が起きた場合のソフト面の点検及び改善策の検討が必要



国・県・市で防災力向上のための今後の取り組み(ソフト対策)を検討

防災力向上のための今後の取り組み(ソフト対策)

○(向田排水機場管理者)の取り組み

- ・ 河川管理施設で故障等機能を十分に発揮できない状態が発生した場合等は、速やかに記者発表や事務所ホームページ等で一般に周知する。また、水防管理者(市)や春田川河川管理者(県)に通知するとともに、円滑かつ迅速な水防活動等ができるよう情報提供体制の強化を図る。

○鹿児島県(春田川河川管理者)の取り組み

- ・ 河川管理施設で故障等機能を十分に発揮できない状態が発生した場合等の通知が国からあった場合、水防管理者(市)へ通報する。
- ・ 春田川が氾濫するおそれがある場合に備え、市の防災活動や住民の円滑な避難に生かされるよう、春田川公園付近に河川監視カメラと量水標を設置したところである。カメラ画像については、県の河川砂防情報システムにおいて、来年の出水期までに、インターネットを通じて広く情報提供を行っていく。また、洪水浸水想定区域図の作成についても検討を行っていく。

○薩摩川内市(水防管理者・排水路管理者・住民避難判断者)の取り組み

- ・ 最近の局地的豪雨などの多発的状況により、今回の事象等をふまえ、災害予防対応における国・県・市の三者の情報連絡体制の強化を図る。
- ・ 市と排水機場等の操作員との連絡体制においては、国のアラームメールシステム等を利用しながら、リアルタイムでポンプ操作状況確認及び未確認施設への連絡など、災害時に必ず情報共有できるような連絡体制の確保を図っていく。
- ・ 国または県からの災害に関する情報等を防災無線、LINE(ライン)、ホームページ等を利用して随時提供して市民への周知を図る。
- ・ 浸水実績標の設置を行い、地域住民の防災意識の向上を図る。
- ・ 浸水対策として土嚢の備蓄場所を確保する。
- ・ 春田川が氾濫するおそれがある場合等においては、被害が拡大しないよう水防活動を行うとともに、地域住民に早めの避難等を促す情報提供を行う。